

コースの見どころ



①伊豆沼野鳥観察館

伊豆沼の東端、登米市迫町に位置する施設。野鳥観察のために設けられました。伊豆沼・内沼では、日本で見られる水鳥の多くが観察できるようです。



②登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

伊豆沼・内沼に棲む生物を淡水魚中心に紹介する施設。観光水槽や野鳥を紹介するバードギャラリー、展望ホールなど、自然観察の拠点となっています。近くには、「マガンの飛び立ち」や「マガンのねぐら入り」観察に最適な伊豆沼野鳥観察館（無料）もあります。



③栗原市サンクチュアリセンターつきだて館

伊豆沼・内沼に生息する昆虫たちの生態を標本や映像で紹介している施設です。館内には、シアタールームやレクチャールームなどがあり、楽しみながら学べるように工夫されています。



④栗原市スワントピア交流館

内沼の湖畔に設けられたログハウスの休憩施設。内沼を一望できる絶好のロケーションで、館内には交流室と喫茶室が設けられています。土曜日、日曜日には「Hotsandwich&Coffeeひしの実」も営業しています。

⑤伊豆沼ウエットランド交流館
(栗原市伊豆沼交流センター)

生涯学習の場として、栗原市若柳の伊豆沼湖畔に建設されました。研修室や宿泊施設のほか、スポーツなども楽しめる充実ぶり。冬には、渡り鳥の朝の飛び立ちやねぐら入りも観察できます。



⑥宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

伊豆沼・内沼の豊かな自然に触れることができる野鳥と植物のライブラリー。展望台からの眺めは抜群で野鳥観察に最適です。テーマ展示室、映像展示室のほか、実験室や研修室も備えています。

コースマップ



※環境省のホームページを経由し、Google マップ上に東北自然歩道のルート
を反映させることができます。（『環境省 東北自然歩道』で検索）

コース紹介

新田駅前から獅子ヶ鼻バス停までの10.6km

水鳥の飛来する貴重な湿原としてラムサール条約登録湿地にも指定された伊豆沼・内沼の水辺の道。冬には渡り鳥を観察したり、夏にはハスを眺めたり、四季を通じて自然に親しむことができます。

交通アクセス

<鉄道> JR東北本線新田駅下車

<自家用車> 東北自動車道築館ICから車で15分

ルートガイド

新田駅→0.5km→登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター→1.2km→あづまや→3.5km→内沼→2.1km→川下田排水機場→2.1km→稲荷神社→1.2km→獅子ヶ鼻バス停



問い合わせ先

登米市観光シティプロモーション課 0220-23-7331
栗原市商工観光部田園観光課 0228-22-1151